

レジメン名 (治療名)					
DCB 療法					
癌腫	レジメン (略語)	実施区分	抗がん剤適応区分		
卵巣癌	DCB 療法	<input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input checked="" type="checkbox"/> 外来	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法	<input type="checkbox"/> 大量化学療法 <input type="checkbox"/> 局所化学療法 <input type="checkbox"/> その他	
投与順	抗がん剤名 (商品名・略称)	1日投与量	投与経路	投与時間	投与日 (day1, 8等)
1	ベバシズマブ【BEV】	15mg/kg	点滴静注	初回 90分 2回目 60分 3回目以降 30分	Day1
2	ドセタキセル【DOC】	75mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	1時間	Day1
3	カルボプラチン【CBDCA】	AUC=5	点滴静注	1時間	Day1
1コースの期間 (次コースまでの標準期間)		3~4週間ごと			
総コース数及び総投与量の限界		DCBとして6コース。その後BEV維持療法へ。 BEVとして合計21コースまで			
プレメディケーション ポストメディケーション		デキサメタゾン、オンダンセトロン、ファモチジン アプレピタント			
備考		<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術前後4週間はアバスチンの投与はしないこと。</li> <li>・CBDCAアレルギーが出現した場合は、DTX単剤となる。その際には軽度催吐性のため、アプレピタントの処方なし。</li> <li>・ドセタキセルは初回投与時にアレルギー反応を起こすことがあるため、開始10分は投与速度を遅くする。</li> <li>・PTXが適さない患者に対して当レジメンを行う。</li> </ul>			

《投与順》

(1) 生理食塩液	100mL	
ファモチジン 20mg	1A	
オンダンセトロン 4mg	1A	
デキサメタゾン 8mg	1.5V	15分
(2) 生理食塩液	100mL	
ベバシズマブ	15mg/kg	90分
(3) 5%ブドウ糖液	250mL	
ドセタキセル	75mg/m <sup>2</sup>	1時間
(4) 5%ブドウ糖液	250mL	
カルボプラチン	AUC=5	1時間
(5) 生理食塩液	50mL	5分

## 内服制吐剤

アプレピタントカプセル 125mg	1Cap 分 1	1 日分
アプレピタントカプセル 80mg	1Cap 分 1	2 日分

## 7 コース目以降

(1) <u>生理食塩液</u>	50mL	5 分
(2) <u>生理食塩液</u>	100mL	
<u>ベバシズマブ</u>	15mg/kg	30 分
(3) <u>生理食塩液</u>	50mL	5 分

\* 卵巣がん術後 4 週間経過していない場合は、DC 療法に基づいた以下のレジメンで 1 コース投与。  
2 コース目からアバスチンを含むレジメンを行う。

(1) <u>生理食塩液</u>	100mL	
<u>ファモチジン 20mg</u>	1A	
<u>デキサメタゾン 8mg</u>	1.5V	15 分
(2) <u>生理食塩液</u>	100mL	
<u>オンダンセトロン 4mg</u>	1A	30 分
(3) <u>5 %ブドウ糖液</u>	250mL	
<u>ドセタキセル</u>	75mg/m <sup>2</sup>	1 時間
(4) <u>5 %ブドウ糖液</u>	250mL	
<u>カルボプラチン</u>	AUC=5	1 時間
(5) <u>生理食塩液</u>	50mL	5 分